

カフ上部吸引器ヨックス SSD の使用経験

白石菜保子¹⁾・中山カヨ子²⁾

●はじめに

一昨年度、カフリークが著明な長期 TPPV 患者のカニューレを大容量カフへ変更したところ、さらに気切孔周囲の分泌物漏れが増加するという現象が起きたことから (図 1)、カフ上部用手間歇吸引とヨックス SSD による吸引効果の比較を行った。その結果、ヨックス SSD の有効性は明確であり、気切孔周囲の分泌物漏れがなくなったことで患者の生活の質 (quality of life : QOL) や皮膚トラブルが改善し、スタッフの業務削減が図れた。また、カフ下部への垂れ込みが減少し、喀痰量や吸引回数の減少が患者の夜間良眠に繋がり、施設導入となった。

●ヨックス SSD 製品概要

吸引圧：-6 ~ -30kPa (出荷時設定 -12kPa)
 吸引時間：10 ~ 60 秒 (1 秒刻み、出荷時設定 20 秒)
 休止時間：3 ~ 60 分 (1 分刻み、出荷時設定 15 分)
 アラーム：満杯、閉塞、バッテリー残量
 バッテリー内蔵：18 時間、災害対応も可能
 本体重量：2.2kg (持ち運び可能)
 吸引容器：小池メディカル社製の吸引器と接続 (500 mL、1,200mL)

●当院における課題・研究

ヨックス SSD 使用中、しばしば過陰圧で吸引不十



図 1 気切孔周囲の分泌物漏れ

分・不可となる場合があり、気切孔周囲の分泌物漏れが再発する現象がみられた。そこで気道模型に対し、ヨックス SSD を吸引圧：-20kPa、吸引時間：45 秒、休止時間：3 分に統一して同条件で設定 (図 2)。カフ圧 30cmH₂O で管理した 4 種類の気管カニューレに対し、日本摂食嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類による粘性溶液をそれぞれカフ上部へ注入して、ヨックス SSD を使用し吸引状態を検証した。

●研究結果と今後

当院研究においては、カニューレの位置調整で吸引が改善したことから、ヨックス SSD 使用下で過陰圧および吸引不十分・不可となる要因として、気管壁とカニューレのポジショニングが重要であることが示唆されている。今後は分泌物の粘性を下げるための水分調整や吸引抵抗が少ないカニューレの選択、気管壁に対するカニューレのポジショニングを検討し、長期 TPPV 患者にとってさらに安全で有効なカフ上部吸引へ繋げていきたい。

1) 医療法人南労会紀和病院 看護部看護支援室

2) 同 障がい者病棟



図2 ヨックスSSD 研究時の設定条件

- 吸引圧：-20kPa
- 吸引時間：45秒
- 休止時間：3分

人色を色に呼吸する。
KOIKE MEDICAL

カフ上部吸引、 どうしていますか？

吸引圧や吸引時間を細かく設定できる、カフ上部吸引が可能。
吸引の回数を減らし、看護する方々の負担も大幅に軽減します。

製造販売元
株式会社 小池メディカル
〒132-0031
東京都江戸川区松島1-24-8
TEL: 03(5662)6605
<http://www.koike-medical.co.jp/>

カフ上部吸引器
yoxx.SSD
ヨックスSSD
Subglottic Secretion Drainage
認証番号 229AKBZX00016000



ヨックスディスプレイとの組み合わせ例